

## 平成 25 年度技術士 2 次試験受験対策、願書業務内容記述例

### 【業務内容】

冬季風雪害に負けない道路計画の立案（H14.4～H15.3）

### 【業務内容の詳細】

（業務概要及び立場・役割）青森県〇〇線は冬季の風雪害により交通事故や通行障害が多発していた。私は、〇の担当主任として、〇〇道の改良の企画・立案を行った。

（課題及び解決策）当〇線は、〇空港北東側に位置し、折から吹付ける滑走路からの横風が吹雪や吹き溜まりを一層ひどくしていた。当路線においては、市内から空港への主要アクセス道路となっており、冬季の通行環境向上が大きな課題となっていた。解決策として、本県では防雪機能として最も実績のあるスノーシェルター計画が挙げられたが、大構造物では航空機の着陸機能システムへの影響が懸念されたため、空港関係者との協議は暗礁に乗り上げた。

（解説策の提案）次善の策として、コンクリートボックストンネルが検討されたが、ルートが進入灯付近にかかるため、侵入灯の移設が必要となり現実的には施工が難しい。そこで、これまでの防雪対策を行ってきた実績を洗い直し、周辺地形との関係に着目した。具体的には、道路計画高を滑走路高の縦断計画（約 4 m 盛土）として窪地をなくし、吹き溜まりができないようにすることを提案した。滑走路との高低差がなくなる分は、吹き抜ける風が強くなり視界不良が発生するが、これらは高性能防風柵を配置することや、道路線曲線を大きくとることで視距は十分に確保できることを実際の現地調査で確認した。

（成果）翌年当計画に基づき道路改良工事は無事終了した。改良後は吹き溜まりが発生することなく、前年度まで〇回の道路閉鎖はなくなった。当工法は、道路を吹き抜ける横風を逆手にとって吹き溜まりを回避させる工法として、その後県内〇箇所採用され風雪害防止対策の主要工法となっている。